

医学総論

I 保健医療論[約13%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 健康・疾病・障害の概念と社会環境 約20%	A 健康の概念	① 健康の定義	
		② 健康の概念の歴史的変遷	
	B 環境と健康	① 宿主	
		② 病因	リスクファクター
		③ 環境	
		④ 行動	
	C 社会環境の変動と国民の健康	① 人口構造	
		② 疾病構造	
		③ 生活様式	
		④ 家族構成	
		⑤ 地域社会構造	
		⑥ 産業構造	
	D 疾病・障害の概念と社会	① 機能障害<impairment>、活動制限<activity limitations>、参加制約<participation restrictions>	
		② 生活の質[quality of life<QOL>]	
		③ ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン	
2 社会保障制度と医療経済 約10%	A 社会保障の概念と制度	① 公的扶助	
		② 社会保険	
		③ 公衆衛生と医療	
		④ 社会福祉	
	B 医療保険、介護保険、公費医療	① 医療保険の種類と対象	
		② 介護保険	
		③ 公費医療の種類と対象	
		④ 保険医、保険医療機関	保険医療機関及び保険医療養担当規則
	C 医療経済	① 国民医療費	
		② 医療費負担と給付	
3 保健・医療・福祉・介護の仕組み 約15%	A 保健・医療・福祉・介護の組織と連携	① 国と地方公共団体	
		② 保健所	
		③ 地方衛生研究所	
		④ 市町村保健センター	
		⑤ 社会福祉関係施設	
		⑥ 児童相談所、福祉施設	
		⑦ 地域包括支援センター	地域包括ケアシステム
		⑧ 医療安全支援センター	
	B 少子化社会・障害児<者>への対応	① 健やか親子21	
		② 次世代育成支援対策推進法	
		③ 障害者基本計画	
	C 在宅ケア	① 在宅医療	訪問診療、往診
		② 訪問看護	
		③ 在宅介護	訪問介護、通所介護<デイサービス>
		④ 在宅リハビリテーション	訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション<デイケア>

I 保健医療論[約13%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
		⑤ 地域保健福祉活動	
4 保健・医療・福祉・介護の資源 約15%	A 保健・医療・福祉・介護の施設と機能	① 病院	
		② 診療所	
		③ 地域医療支援病院	
		④ 特定機能病院	
		⑤ 臨床研究中核病院	
		⑥ 療養病床	
		⑦ 保険薬局	お薬手帳
		⑧ 介護保険施設(介護老人福祉施設<特別養護老人ホーム>、介護老人保健施設、介護療養型医療施設)	
		⑨ 居宅サービス、ショートステイ、グループホーム	
		⑩ 訪問看護ステーション	
		⑪ 居宅介護支援事業所	介護支援専門員<ケアマネジャー>
		⑫ 要介護認定	介護保険主治医意見書、ケアプラン、要支援、要介護、直接・間接生活介護、BPSD・機能訓練・医療関連行為
	B 保健・医療・福祉・介護従事者	① 保健・医療・福祉・介護従事者の現状と役割	
		② 連携とチーム医療	多職種連携教育 [interprofessional education<IPE>]
		③ 医行為と診療補助行為	
5 保健・医療・福祉・介護関係法規 約15%	A 医事	① 医師法	
		② 医療法	
		③ 刑法	秘密漏示、文書偽造、過失傷害、堕胎
		④ 民法	説明義務、注意義務、過失(予見性、回避義務)
		⑤ 死産の届出に関する規定	
		⑥ 死体解剖保存法	
		⑦ 臓器の移植に関する法律	
		⑧ 医学及び歯学の教育のための献体に関する法律	
		⑨ 個人情報保護法	
	B 薬事	① 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律<医薬品医療機器等法>	医薬品医療機器総合機構
		② 毒物及び劇物取締法	
		③ 麻薬及び向精神薬取締法	
		④ 覚せい剤取締法	
	C 地域保健	① 地域保健法	
		② 健康増進法	
	D 母子保健	① 母子保健法	
		② 母体保護法	

I 保健医療論[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
	E 成人・高齢者保健	③ 児童虐待の防止等に関する法律	
		① 高齢者の医療の確保に関する法律<高齢者医療確保法>	
		② 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律<DV法>	
		③ 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律	
	F 精神保健	① 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>	
		② 自殺対策基本法	
		③ 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律<医療観察法>	
		④ 民法(成年後見制度)	
	G 感染症対策	① 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律<感染症法>	
		② 検疫法	
		③ 予防接種法	
	H がん対策	① がん対策基本法	
	I 食品保健	① 食品衛生法	
	J 学校保健	① 学校保健安全法	
	K 産業保健	① 労働基準法	
		② 労働安全衛生法	
		③ 労働者災害補償保険法	
		④ じん肺法	
	L 環境保健	① 環境基本法	
		② 公害健康被害の補償等に関する法律	
		③ 水道法	
		④ 下水道法	
		⑤ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律<廃棄物処理法>	
		⑥ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律<建築物衛生法>	
	M 医療保険	① 健康保険法	
		② 国民健康保険法	
	N 難病対策、社会福祉、介護	① 難病の患者に対する医療等に関する法律<難病法>	
		② 児童福祉法	
		③ 生活保護法	
		④ 老人福祉法	
		⑤ 障害者基本法	
		⑥ 身体障害者福祉法	
		⑦ 知的障害者福祉法	
		⑧ 介護保険法	
6 地域保健、地域医療 約15%	A 地域保健・地域医療と医師の役割	① 医師会	
		② 医療連携	
		③ 自治体との連携	

I 保健医療論[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
	B 医療計画	① 医療圏	地域医療構想
		② 基準病床数	
		③ 地域医療支援病院の整備	
		④ 病院・診療所・薬局の連携、地域包括ケア	
		⑤ へき地医療・救急医療の確保	
		⑥ 医療従事者の確保	
		⑦ 地域連携クリニカルパス	
	C プライマリヘルスケア	① 概念と活動内容	
		② アルマ・アタ<Alma Ata>宣言	
	D 健康増進とヘルスプロモーション	① 健康増進の概念	
		② ヘルスプロモーションの概念、オタワ憲章、バンコク憲章	
	E 救急医療	① 救急医療体制	
		② 初期・二次・三次救急医療	
		③ 救急医療機関、救命救急センター、救急指定病院、休日夜間急患センター、在宅当番医	
		④ 救急医療情報	
		⑤ 救急搬送、救急医療用ヘリコプター<ドクターヘリ>、ドクターカー、救急車	
		⑥ 応急処置<病院前救護>、特定行為、救急隊員、救急救命士	
		⑦ 応急手当	
	F 災害医療	① 災害時保健医療	
		② 医療救護班、災害派遣医療チーム[disaster medical assistance team<DMAT>]	
		③ 災害拠点病院	
		④ トリアージ	
		⑤ 地域医療搬送、広域医療搬送	staging care unit<SCU>
	G 離島・へき地医療	① へき地医療拠点病院	
		② へき地診療所	遠隔医療
		③ 無医地区	
		④ へき地保健医療計画	
		⑤ へき地医療支援機構	
7 国際保健 約10%	A 世界の保健・医療問題	① 持続可能な開発のための2030アジェンダ<SDGs>	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ<UHC>
		② 母子の健康状況	
		③ 感染症、エビデミック<流行>、パンデミック	
		④ 非感染性疾患<NCD>	
	B 国際保健・医療協力	① 国際連合<UN>	
		② 世界保健機関<WHO>	
		③ 国際労働機関<ILO>	
		④ 国連合同エイズ計画<UNAIDS>	
		⑤ 国際協力機構<JICA>	

I 保健医療論[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑥ 政府開発援助<ODA>	二国間協力、多国間協力
		⑦ 非政府機関<NGO>	

Ⅱ 予防と健康管理・増進[約17%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 予防医学と健康保持増進 約12%	A 地域社会と公衆衛生	① コミュニティヘルス	
		② 公衆衛生の概念と機能	
	B 予防医学	① 予防医学の概念	
		② 一次・二次・三次予防	
	C 健康保持・増進	① 健康教育・学習、保健指導、健康相談	
		② 健康保持・増進の概念	
	D 健康診断・診査と健康管理	① 健康管理の概念・方法	
		② 健康診断・診査と事後指導	
2 人口統計と保健統計 約8%	A 人口静態	① 日本の人口	
		② 国勢調査	
		③ 世界の人口	
	B 人口動態	① 出生と死亡	
		② 結婚と離婚	
		③ 死産	
		④ 再生産率、合計特殊出生率	
		⑤ 生命表	平均余命、平均寿命
	C 疾病・障害の分類・統計	① 国際疾病分類<ICD>	
		② 国際生活機能分類<ICF>	
		③ 国民生活基礎調査	
		④ 患者調査	
		⑤ 生活のしづらさなどに関する調査<全国在宅障害児・者等実態調査>	
3 疫学とその応用 約8%	A 疫学の概念	① 宿主、病因、環境	リスクファクター
		② 疾病の自然史	
		③ 頻度と分布	
		④ 標本の抽出	母集団、偶然誤差
		⑤ 疫学的因果関係	妥当性、バイアス、交絡因子
	B 疫学指標	① 頻度を表す指標	死亡率、罹患率、有病率
		② 関連を表す指標	相対危険度<relative risk>(リスク比)、寄与危険度<attributable risk>(リスク差)、オッズ比<odds ratio>
		③ 指標の比較	年齢調整率、標準化死亡比<SMR>
	C 統計解析	① 代表値とばらつき	標準偏差、標準誤差
		② 検定と推定	有意水準、95%信頼区間
		③ 分析モデル	
	D 観察研究	① 記述疫学	
		② 横断研究	
		③ 症例対照研究	
		④ コホート研究	
	E 介入研究	① 臨床試験	
		② ランダム化比較試験<RCT>	intention to treat<ITT>、プラセボ、盲検

Ⅱ 予防と健康管理・増進[約17%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	F システマティックレビューとメタ分析<メタアナリシス>	① システマティックレビュー ② メタ分析<メタアナリシス>	
4 母子保健 約12%	A 現状と動向	① 出生	
		② 妊産婦死亡	
		③ 死産	
		④ 周産期死亡	
		⑤ 新生児・乳児死亡	
		⑥ 人工妊娠中絶	
	B 母性保健、周産期の保護	① 家族計画、不妊	
		② 母子健康手帳	
		③ 妊産婦健康診査	
		④ 産休制度、育児休業制度	
		⑤ 環境因子と胎児障害	飲酒、喫煙、感染症、薬物、環境汚染、放射線
	C 小児の保健・福祉	① 乳児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査	
		② 育児指導	
		③ 養育医療	
		④ 自立支援医療	
		⑤ 新生児マススクリーニング	
		⑥ 児童虐待の予防	
5 成人保健 約4%	A 現状と動向	① 生活習慣病の罹患と死亡	
	B 生活習慣病と保健対策	① 生活習慣病のリスクファクター	
		② 予防対策とその評価 ③ 特定健康診査、特定保健指導	
6 高齢者保健 約4%	A 現状と動向	① 高齢者の人口・死因・受療率・有訴率	
		② 要支援・要介護の原因	
	B 高齢者の健康保持・増進	① 加齢と健康状態	
		② 日常生活動作<ADL>	
		③ 生活の質[quality of life<QOL>]	
		④ 閉じこもり、廃用症候群 ⑤ 介護予防	サルコペニア
7 精神保健福祉 約8%	A 現状と動向	① 精神障害者	
		② 心の健康づくり	自殺対策、依存症対策
		③ 精神保健福祉センター	
		④ 精神障害者社会復帰施設	
	B 精神的健康の保持・増進	① 精神保健福祉相談	学校精神保健、産業精神保健
		② 地域精神保健福祉活動	地域移行
8 感染症対策 約16%	A 感染症の疫学	① 主な感染症の疫学と流行状況	
		② 感染症発生動向調査<サーベイランス>	
		③ 母子感染	

Ⅱ 予防と健康管理・増進[約17%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
		④ 院内感染	
		⑤ 健康診断、入院、届出	
	B 医師と自治体の対応	② 就業制限	学校における出席停止
	C 予防接種と検疫	① 集団予防と個人予防	
		② 予防接種	
		③ 生ワクチンと不活化ワクチン	
		④ 検疫	
		⑤ 人獣共通感染症対策	
		⑥ バイオテロ対策	
9 国民栄養と食品保健 約4%	A 国民栄養の現状と対策	① 食事調査	
		② 国民健康・栄養調査	
		③ 食事摂取基準	
		④ 食生活指針	食事バランスガイド
		⑤ 栄養教育・指導	
	B 食品の安全性と機能性	① 食品添加物	1日の摂取許容量<ADI>
		② 食品中の汚染物質	ハサップ手法<HACCP>
		③ 遺伝子組換え食品	
10 学校保健 約4%	A 学校保健の現状と動向	① 学齢期好発疾患と予防	
		② 体格、体力	
	B 学校医と保健管理	① 学校医の職務	
		② 養護教諭	
		③ 健康診断	
		④ 児童の慢性疾患と保健管理	
		⑤ 学校における感染症の予防	
		⑥ 学校精神保健	引きこもり、自殺の予防
11 産業保健 約8%	A 産業保健の仕組み	① 労働者の安全衛生管理	
		② 労働者の健康増進	
		③ 労働災害の補償	
	B 現状と動向	① 業務上疾病の発生状況	
		② 労働力の動向	正規雇用、非正規雇用、高齢者労働
	C 産業医と労働安全衛生管理	① 労働衛生管理体制	
		② 産業医の資格と職務	
		③ 健康管理、作業環境管理、作業管理	
		④ 許容濃度、管理濃度	
		⑤ 生物学的モニタリング	
		⑥ 労働災害	
		⑦ 健康保持増進対策	トータルヘルスプロモーションプラン<THP>

Ⅱ 予防と健康管理・増進[約17%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
12 環境保健 約12%		⑧ 労働安全衛生マネジメントシステム	
		⑨ 過重労働対策	
		⑩ メンタルヘルス対策	
		⑪ 都道府県労働局、労働基準監督署、産業保健総合支援センター、地域産業保健センター	
		⑫ 健康診断と事後指導	
	A 環境と適応	① 環境の概念	
		② 生態系と生物濃縮	
		③ 有害物質の吸収・排泄	
	B 地球環境の変化と健康影響	① 地球温暖化	
		② オゾン層破壊	
		③ 酸性雨	
		④ 砂漠化	
	C 環境汚染の発生要因と健康影響	① 環境汚染の概念(エピソード)	環境保全
		② 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染	汚染の指標
		③ 内分泌かく乱化学物質、ダイオキシン類	
		④ 農薬、重金属類	
		⑤ 石綿	
	D 上水道と下水道	① 水質基準	
		② 浄水法と消毒	
		③ 水系感染	
		④ 汚染処理	
	E 公害の健康被害と対策	① 公害の概念	
		② 主な公害のエピソード	
		③ 公害健康被害補償制度	
	F 環境汚染の評価と対策	① 環境基準、排出規制	
		② 環境モニタリング	
		③ 環境影響評価<環境アセスメント>	
	G 廃棄物処理	① 一般廃棄物	
		② 産業廃棄物	
		③ 感染性廃棄物	医療廃棄物
		④ リサイクル	
	H 騒音・振動の健康影響と対策	① 騒音の聴器・聴覚への影響、騒音性難聴	
		② 騒音の生理的・心理的影響	
		③ 全身振動	
		④ 局所振動	
		⑤ 低周波空気振動	
		⑥ 評価と対策	
	I 放射線の健康影響と管理	① 非電離放射線の健康影響	
		② 電離放射線の健康影響	
		③ 放射線管理	

Ⅱ 予防と健康管理・増進[約17%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	J 居住・衣服環境と健康	④ 放射性廃棄物	
		① 屋内環境の管理	換気、採光、照明、冷暖房
		② 建築物衛生	
		③ 衣服の機能と健康	

Ⅲ 人体の正常構造と機能[約 9 %]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 個体の構造 約 8 %	A 細胞、組織		
	B 局所解剖	① 正常画像	周囲臓器との位置関係
2 皮膚、頭頸部、 感覚器、発声器 約15%	A 皮膚の構造・機能	① 表皮、真皮、付属器、脈管、神経、皮下組織	
		② 角化、メラニン生成、免疫機能、Langerhans細胞、細胞間接着、基底膜、肥満細胞	
		③ 細胞間脂質	
		④ 結合組織の代謝	
		⑤ 発汗	
		⑥ 皮脂	
		⑦ 毛周期	
		⑧ 経皮吸収	
	B 頭蓋・頭蓋腔の構造	① 前頭蓋窩、中頭蓋窩、後頭蓋窩、トルコ鞍、視神経管、上眼窩裂、錐体、内耳道、頸静脈孔、大後頭孔	
	C 顔面の構造	① 眼窩、眼瞼、外鼻孔、鼻根、人中、口唇、口角、三叉神経、顔面神経	
	D 頸部の構造	① 頸筋膜、頸筋群、頸動脈、頸静脈、迷走神経、反回神経、副神経、舌下神経、舌神経、腕神経叢、横隔神経、交感神経幹、星状神経節	
	E 頭頸部の生理的間隙	① 咽後間隙、副咽頭間隙	
	F 視覚系の構造・機能	① 眼球[角膜、結膜、強膜、眼房、隅角、ぶどう膜(虹彩、毛様体、脈絡膜)、瞳孔、水晶体、硝子体、網膜]、視路(視神経、視{神経}交叉、視索、外側膝状体、視放線)、視中枢	
		② 眼球付属器(眼瞼、涙器、Tenon嚢、外眼筋、眼窩)	
		③ 視機能[視力、光覚(暗順応)、色覚、視野、調節、両眼視、立体視、眼圧、眼位、眼球運動、輻湊、開散、開瞼、閉瞼]	
	G 聴覚系の構造・機能	① 聴器[外耳(耳介、外耳道、鼓膜)、中耳(耳小骨、蝸牛窓、前庭窓、乳突洞、耳管)、内耳(蝸牛、コルチ器、有毛細胞)]	
		② 聴覚生理、聴力(伝音機構、感音機構、聴覚の電気現象)	
	H 前庭平衡系の構造・機能	① 末梢前庭器官(球形嚢、卵形嚢、三半規管、内リンパ嚢)	
		② 前庭反射	
	I 嗅覚系・味覚系の構造・機能	① 嗅上皮	
		② 味蕾	

Ⅲ 人体の正常構造と機能[約 9 %]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	J 発声器の構造・機能	① 声帯、内喉頭筋、粘膜波動、上喉頭神経、反回神経(下喉頭神経)	
	K 体性感覚系の構造・機能	① 痛覚	
		② 温度覚	
		③ 触覚、圧覚	
3 呼吸器、胸郭、 胸壁 約 8 %	A 胸郭の構造・機能	④ 深部感覚	
		① 胸膜、胸壁、横隔膜	横隔神経、肋間神経、迷走神経、反回神経、交感神経幹
		② 乳房(乳腺、Montgomery腺)	
		③ 縦隔	上縦隔、前縦隔、中縦隔、後縦隔
	B 上気道・下気道の構造・機能	④ 胸腺	
		① 鼻、鼻腔、喉頭、声帯、気管、気管支	
		② 吸気に加温・加湿	
		③ 保護・防御機能	
	C 肺の構造・機能	④ 呼吸機能	
		① 気管、気管支、肺胞	
		② 肺血管系	
		③ 肺のリンパ管とリンパ節	
		④ 肺表面活性物質	
		⑤ 肺気量分画	
		⑥ 換気、死腔	換気力学(胸腔内圧、肺コンプライアンス、抵抗、closing volume)
		⑦ 換気血流比	
		⑧ 拡散	
		⑨ 肺胞気-動脈血酸素分圧較差 $\langle A-aDO_2 \rangle$	換気分布
		⑩ 呼吸の調節(換気量)	
		⑪ 血液中のガス運搬	
		⑫ 酸塩基平衡	
		⑬ 代謝	
		⑭ 防御機能	
	D 呼吸運動	① 呼吸筋	
		② 呼吸調節、末梢受容体、呼吸中枢、無呼吸反射	
4 心臓、脈管 約 8 %	A 心臓・血管の構造・機能	① 心臓、大血管、冠血管、末梢血管	
		② 心臓の興奮と伝導	洞結節、房室結節
		③ 心周期と時相	
		④ 心機能、心筋収縮性・拡張性	
		⑤ 心拍出量	
		⑥ 血圧	
		⑦ 循環血液量	
		⑧ 体循環	冠循環

Ⅲ 人体の正常構造と機能[約 9 %]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
5 消化器、腹壁、 腹膜 約 8 %		⑨ 肺循環	
		⑩ 循環動態の調節	
		⑪ 容量血管と抵抗血管	
		⑫ 末梢血管抵抗	
		⑬ 静脈還流	
	B リンパ管の構造 と機能	① リンパ管とリンパ節	
		② 胸管	
	A 口腔・咽頭の構 造・機能	① 歯、舌、唾液腺、口蓋、扁桃、耳 管、上・中・下咽頭	
		② 咬合、咀嚼、消化、食塊形成、 唾液	摂食機能、口腔環境
		③ 嚥下	嚥下機能
6 血液、造血器 約 8 %	B 消化管の構造・ 機能	① 消化管壁の構造	
		② 脈管系	門脈系、上腸間膜血管
		③ 神経系	
		④ 消化管運動	食道内圧、胃腸反射
		⑤ 消化管の消化・吸収	
		⑥ 胃液の分泌	
		⑦ 消化管生理活性物質	消化管ホルモン、増殖因子
		⑧ 消化管の免疫	腸内細菌叢
		⑨ 排便機能	直腸肛門反射
	C 肝・胆道・膵の 構造・機能	① 肝・胆道・膵の構造	
		② 肝臓の機能	
		③ 胆汁および胆汁分泌	胆嚢収縮の調節
		④ 腸肝循環	胆汁酸
		⑤ 膵内外分泌	
	D 腹壁・腹膜の構 造・機能	① 腹壁の筋肉・筋膜	
		② 神経系	
		③ 腹腔内臓器、腹膜	後腹膜臓器
	A 血液・造血器の 構造・機能	① 骨髄、リンパ組織、脾臓	
		② 血球の産生・崩壊とその調節	造血幹細胞
		③ 赤血球の形態・機能	
		④ 白血球の形態・機能	
		⑤ 髄外造血	
		⑥ 鉄・造血ビタミンの代謝	ヘプシジン、葉酸、ビタミ ンB ₁₂
		⑦ 止血機能と血管壁、血小板、凝固・ 線溶系	
		⑧ 血漿とその成分	タンパク分画
		⑨ 造血因子、サイトカイン	エリスロポエチン、顆粒球 コロニー刺激因子<G-CSF>、 トロンボポエチン

Ⅲ 人体の正常構造と機能[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
7 腎、泌尿器、生殖器 約8%	A 腎の構造・機能	① 腎(糸球体、尿細管、間質、血管系)	
		② 体液の分布と組成	
		③ 尿の生成	糸球体濾過、クリアランス、尿の濃縮と希釈
		④ 水・電解質の代謝調節	ホメオスタシス
		⑤ 酸塩基平衡	
		⑥ 腎の内分泌機能	エリスロポエチン、ビタミンD、レニン
		⑦ 血圧の調節	
	B 尿路の構造・機能	① 腎杯、腎盂、尿管、膀胱、前立腺、尿道	
		② 蓄尿、排尿	
	C 男性生殖器の構造・機能	① 精巣、精巣上体、精管、精嚢、前立腺、陰茎	
		② 造精機能	
		③ 勃起	
		④ 射精	
		⑤ 脈管系	
		⑥ 神経系	
		⑦ 視床下部・下垂体・精巣系	
	D 女性生殖器の構造・機能	① 外陰、会陰、膣、子宮、子宮支持組織、卵巣、卵管、骨盤骨、骨盤底、Douglas窩、Bartholin腺、Skene腺	
		② 脈管系	
		③ 神経系	
		④ 視床下部・下垂体・卵巣系	
		⑤ 性周期(排卵、子宮内膜の周期性変化、月経、性器外周期、基礎体温)	
8 心理、精神、神経、運動器 約15%	A 心理・精神機能	① 意識	
		② 知覚	
		③ 記憶	
		④ 見当識	
		⑤ 知能	
		⑥ 思考	
		⑦ 感情、気分	
		⑧ 意欲と行動	
		⑨ 自我	
		⑩ 気質、性格、パーソナリティ<人格>	
	B 精神機能と身体	① 睡眠	レム<REM>睡眠、ノンレム睡眠
		② 日内<概日>リズム<サーカディアンリズム>	
		③ 神経伝達物質	

Ⅲ 人体の正常構造と機能[約 9 %]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	C 中枢神経・末梢神経の構造・機能	① 頭蓋、脳、脊柱、脊椎、脊髄、神経根	
		② 脳室、脳槽、髄膜	髄液の分泌・循環・吸収
		③ 大脳皮質と機能局在	高次脳機能
		④ 大脳基底核とその連絡路	
		⑤ 視床	
		⑥ 視床下部、下垂体	
		⑦ 海馬、扁桃体、辺縁系	
		⑧ 脳幹	
		⑨ 小脳とその連絡路	
		⑩ 脳神経	
		⑪ 嗅覚路	
		⑫ 視覚路	
		⑬ 聴覚・前庭路	
		⑭ 脊髄の機能局在と主な伝導路	
		⑮ 末梢神経	
		⑯ 自律神経系	
		⑰ 運動系伝導路	
		⑱ 感覚系伝導路	デルマトーム
		⑲ 反射	求心路、中枢、遠心路
	D 脳・脊髄血管系とその支配領域	① 内頸動脈領域	
		② 椎骨・脳底動脈領域	
		③ Willis動脈輪	
		④ 脳静脈系	硬膜静脈洞
		⑤ 脊髄動脈系	
	E 運動器の構造・機能	① 骨、軟骨、筋、腱、靱帯、末梢神経	
		② 骨格(頭蓋、脊柱、胸郭、骨盤、四肢)	
		③ 関節(関節軟骨、滑膜、関節包、半月板、椎間板)	
		④ 骨の成長と骨形成・吸収	成長軟骨
		⑤ 神経支配	
		⑥ 運動生理	
9 内分泌、代謝、栄養 約 8 %	A 内分泌器官の構造・機能	① 内分泌器官	視床下部、下垂体、甲状腺、副甲状腺<上皮小体>、副腎皮質・髄質、膵島、腎、性腺
		② ホルモンの種類	
		③ ホルモンの合成・分泌とその調節	
		④ ホルモンの作用機序	
		⑤ 内分泌系と免疫系・精神神経系	ホメオスタシス
	B 代謝と栄養	① 代謝と内分泌	
		② 代謝経路	
		③ 代謝調節	
		④ 食事摂取基準	

Ⅲ 人体の正常構造と機能[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑤ 栄養素の役割とバランス	
10 免疫 約15%	A 免疫系臓器	① 中枢性免疫系臓器(骨髄、胸腺)	
		② 末梢性免疫系臓器(リンパ節、脾、扁桃、粘膜関連リンパ組織<MALT>)	
	B 自然免疫	① 好中球、好酸球、単球、NK細胞	toll-like receptor<TLR>
	C 獲得免疫	① Tリンパ球<T細胞>	ヘルパーT細胞(Th1、Th2、Th17)、細胞傷害性T細胞<CTL>、制御性T細胞<Treg>
		② Bリンパ球<B細胞>、形質細胞	
		③ 抗原提示細胞(マクロファージ、樹状細胞)、リンパ濾胞	
	D 免疫系の調節	① 免疫グロブリン	
		② 補体	
		③ サイトカイン、ケモカイン	
		④ 免疫応答とその調節	
		⑤ 組織適合(性)抗原<HLA>	
		⑥ 免疫寛容	

IV 生殖、発生、成長、発達、加齢[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 妊娠 約15%	A 妊娠の成立・維持	① 受精	
		② 受精卵の卵割と輸送	
		③ 着床	
		④ 妊娠維持の機構	
		⑤ 妊娠持続期間	
	B 胎児付属物	① 胎盤	
		② 卵膜	
		③ 臍帯	
		④ 羊水	
	C 胎児・胎盤系	① 胎児・胎盤循環	動脈管、静脈管、卵円孔
		② 内分泌機能	
		③ ガス・物質交換と代謝	
	D 妊娠による母体変化	① 妊娠徴候	
		② 性器の変化	
		③ 全身の変化(性器以外)	
	E 妊婦の栄養		
2 分娩 約15%	A 分娩の3要素	① 産道(骨産道、軟産道)	
		② 娩出物(胎児、胎児付属物)	胎向、胎位、胎勢
		③ 娩出力(陣痛、腹圧)	
	B 分娩の経過	① 前徴	産徴、前陣痛<前駆陣痛>
		② 分娩開始	
		③ 分娩時期(第1期<開口期>、第2期<娩出期>、第3期<後産期>)	
		④ 破水	
		⑤ 児頭の浮動・下降・進入・固定・嵌入	
		⑥ 回旋(第1～4回旋)	
		⑦ 児頭の変形	応形機能、骨重積、産瘤
		⑧ 児の娩出	排臨、発露
		⑨ 胎盤娩出	
3 産褥 約8%	A 産褥の経過	① 後陣痛	
		② 子宮復古	
		③ 悪露	
		④ 産褥無月経、授乳性無月経	
		⑤ 全身の復古	
	B 乳汁分泌	① 乳汁分泌の機序	
		② 初乳	
		③ 成熟乳<成乳>	
4 胎児 約8%	A 胎児の発育	① 妊卵<胚>、胎芽、胎児	
		② 器官形成期	
		③ 成長の評価	
		④ 妊娠期間、胎児の形態	
	B 器官形成と臓器の成熟	① 皮膚	
		② 感覚器	

IV 生殖、発生、成長、発達、加齢[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
		③ 呼吸器	
		④ 循環器	
		⑤ 消化器	
		⑥ 血液、造血器	
		⑦ 腎、泌尿器、生殖器	Wolff管、Müller管
		⑧ 神経、運動器	
		⑨ 内分泌、代謝	
		⑩ 免疫	
5 新生児 約15%	A 成熟徴候	① 在胎週数	
		② 出生時の身長・体重	
		③ 身体的特徴	
		④ 頭囲、胸囲	
		⑤ 大泉門	
	B 新生児の生理	① 呼吸	
		② 循環	臍帯脱落
		③ 体温	
		④ 腎臓、体液	
		⑤ 肝臓、ビリルビン代謝	生理的黄疸
		⑥ 消化	胎便、移行便、生理的体重減少
		⑦ 血液、免疫	IgG、IgA、IgM、胎児ヘモグロビン
6 小児期 約15%	A 小児の成長	① 発育区分	乳児期、幼児期、学童期
		② 身体発育	成長速度曲線、身長、体重、頭囲、胸囲、プロポーション
		③ 生菌	
		④ 骨年齢	
		⑤ 成長の評価	成長曲線、成長速度曲線、発育指数(Kaup指数、Rohrer指数、肥満度)
	B 小児の発達	① 反射(原始反射と姿勢反射)	Moro反射、背反射、緊張<強直>性頸反射、交叉伸展反射、探索反射、吸啜反射、把握反射、Babinski反射、立ち直り反射、Landau反射、パラシュート反射
		② 運動	
		③ 精神	
		④ 言語発達	
		⑤ 生活習慣	
		⑥ 社会性	
		⑦ 視力、聴力	
		⑧ 評価	スクリーニング法、発達指数、知能指数
	C 小児栄養	① 栄養所要量	

IV 生殖、発生、成長、発達、加齢[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
IV 生殖、発生、成長、発達、加齢		② 母乳栄養	
		③ 人工栄養	
		④ 離乳	
		⑤ 幼児・学童の栄養	
		⑥ 栄養状態の評価	
		⑦ 過剰と欠乏	
	7 思春期、青年期 約8%	A 身体の成長・発達	① 成長スパーク<growth spurt>
			② 二次性徴
			③ 思春期の発来機序
		B 精神発達	① 発達区分
			② 発達理論
			③ 思春期危機
			④ 自我<自己>同一性形成 性役割、職業役割
			⑤ 学習と社会経験
	8 加齢、老化 約15%	A 細胞・組織の加齢現象	① 細胞の老化
			② 組織の機能低下
		B 加齢による変化、疾患の特徴	① 皮膚
			② 感覚器
			③ 呼吸器
			④ 消化器
			⑤ 心臓、脈管
			⑥ 腎、泌尿器、生殖器
			⑦ 中枢神経、末梢神経
			⑧ 運動器 骨密度測定、運動器症候群<ロコモティブシンドローム>
			⑨ 血液、造血
			⑩ 内分泌、代謝
			⑪ 免疫
		C 高齢者の生理的特徴	① 予備力・適応能力の低下
			② 検査値の加齢変化
		D 高齢者の心理的特徴	① 認知機能の低下
			② 感情・意欲・性格の変化
			③ 行動の変化
		E 高齢者の疾患の特徴と頻度の変化	① 非定型的症状
			② 多疾患合併
			③ 老年症候群 誤嚥、転倒、失禁、褥瘡
			④ 日常生活障害 運動器不安定症
		F 寿命	① 余命への配慮

V 病因、病態生理[約12%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
1 疾病と影響因子 約6%	A 疾病の自然経過	① 病理発生	
		② 病期(前臨床期、臨床期)	
		③ 病型	
	B 内因と外因	① 疾患関連遺伝子	
		② 遺伝子異常と環境因子	
	C 生活・職業・社会環境と疾病	① 生活習慣<ライフスタイル>	
		② 環境因子	
		③ 労働適応	
		④ 妊娠・出産・育児と労働	
		⑤ 技術革新と健康障害	
	D ストレス	① 心理・社会的要因	
		② 自律神経・内分泌機能の変化	
		③ 感情と行動の変化	
		④ ストレス関連疾患の誘発と症状増悪	
		⑤ 災害、移民	
2 先天異常 約11%	A 原因と分類	① 単一遺伝子病	
		② 多因子遺伝	
		③ 細胞質遺伝	ミトコンドリア病
		④ 染色体異常	
		⑤ 環境因子による奇形	
	B 遺伝形式	① Mendel遺伝様式	
		② 非Mendel遺伝様式	
	C 染色体異常の種類	① 染色体異常の原因	
		② 数的異常	trisomy、monosomy
		③ 構造異常	欠失、転座、iso染色体
		④ モザイク	
		⑤ 隣接遺伝子症候群	
	D 遺伝相談	① 遺伝カウンセリング	
		② 出生前診断	
3 損傷、炎症 約11%	A 創傷の治癒過程	① 一次治癒、二次治癒	
		② 肉芽組織、瘢痕組織、肥厚性瘢痕、ケロイド	
		③ 創傷治癒に影響する因子	
	B 物理的損傷	① 鋭的外傷、穿通性損傷	刺創、銃創、杵創
		② 鈍的外傷、非穿通性損傷	墜落、転落、転倒、狭圧
		③ 爆傷	
		④ 熱傷	
		⑤ 凍傷	
		⑥ 電撃傷	
		⑦ 放射線障害	
		⑧ 褥瘡	
	C 化学的損傷	① アルカリによる損傷	
		② 酸による損傷	

V 病因、病態生理[約12%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
	D 炎症の局所的变化	① 組織反応	
		② 症候	
	E 炎症の全身的变化	① 呼吸・循環の変化	
		② 代謝性反応	
		③ 免疫反応	
4 感染 約11%	A 概念	① 病原体	
		② 感染防御機構	易感染性宿主 <compromised host>
		③ 感染と発症	キャリア(保菌者)
		④ 感染様式と経路	
	B 病態	① 市中感染症	
		② 院内<病院>感染症	
		③ 菌交代現象、菌交代症	
		④ 薬剤耐性[antimicrobial resistance<AMR>]	
		⑤ 日和見感染症<opportunistic infection>	
		⑥ 二次感染、複数菌感染	
		⑦ 性感染症<STD、STI>	
		⑧ 垂直感染	母子感染(子宮、産道、母乳)
		⑨ 輸入感染症	
		⑩ 新興・再興感染症	
		⑪ 人獣共通感染症	
		⑫ バイオテロに関連する感染症	
5 アレルギー、 免疫異常 約6%	A 免疫異常疾患	① 免疫不全	
		② 自己免疫疾患	
	B アレルギー	① Coombs分類	アナフィラキシー
6 腫瘍 約11%	A 腫瘍の疫学	① 罹患<発生>率	
		② 生存率	
		③ 死亡率	
		④ 予防	
	B 腫瘍の病因	① 発がん因子	
		② がんと遺伝的要因・外的要因	
		③ がん遺伝子、がん抑制遺伝子	
	C 腫瘍の病理・病態	① 腫瘍の定義	
		② 良性、悪性	
		③ 上皮性、非上皮性	
		④ 腫瘍細胞の異型性と多形性	異形成
		⑤ 潜在がん、偶発がん、上皮内がん、表在がん	
		⑥ 早期がん、進行がん、転移がん、重複がん	
		⑦ 局所浸潤	

V 病因、病態生理[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑧ 転移	リンパ行性転移、血行性転移
		⑨ 播種	
		⑩ 悪液質	
		⑪ 臨床病期分類	TNM分類
		⑫ 再発	
7 循環障害、臓器不全 約6%	A 血行障害	① 阻血、虚血	
		② 充血	
		③ うっ血	
		④ 出血	
	B 梗塞	① 血栓	
		② 塞栓	
	C リンパ還流障害	① 水腫	
		② リンパ漏	
	D ショック	① 血流分布異常性ショック	アナフィラキシー、感染性<敗血症性>、神経原性
		② 循環血液量減少性ショック	出血性、体液喪失
		③ 心原性ショック	心筋性、機械性、不整脈
		④ 閉塞性ショック	心タンポナーデ、肺塞栓症、緊張性気胸
	E 血圧異常	① 高血圧	高血圧緊急症
		② 低血圧	起立性低血圧、起立性調節障害
	F 臓器不全	① 多臓器不全<MOF>、多臓器機能障害症候群<MODS>	
8 内分泌・代謝・栄養の異常 約11%	A ホルモン合成・分泌の異常	① 欠乏と過剰	
		② 機能異常	
	B エネルギー及び栄養素の欠乏と過剰	① 低栄養、肥満	
		② 糖{質}・脂質・タンパク{質}代謝(核酸代謝を含む)の異常	
		③ ビタミン、無機質<ミネラル>、必須<微量>元素、必須<微量>栄養素	
9 中毒、放射線障害 約11%	A 中毒の発生要因		
	B 中毒の病態生理	① 毒物の吸収・分布・代謝・排泄	
		② 中毒量、致死量、LD ₅₀	用量反応曲線
		③ 急性中毒、慢性中毒	
		④ 発がん性	
		⑤ 生殖毒性	
		⑥ 依存	
	C 放射線の身体的影響	① 急性反応<障害>	放射線防護
		② 晩期反応<障害>	
		③ 妊娠時期と放射線感受性	
	D 放射線の確率的影響・確定的影響	① 閾<しきい>線量	
		② 放射線による発がん	

V 病因、病態生理[約12%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
		③ 遺伝的影響	生殖腺線量、遺伝的有意線量、LNT仮説
10 医原病 約6%	A 診断に伴う医原病	① 医師の対応による医原病	
		② 診断による医原病	
	B 治療に伴う医原病		
11 死 約11%	A 死因の究明	① 急死、突然死	
		② 乳幼児突然死症候群<SIDS>	
		③ 診療関連死	
		④ 監察医制度	
		⑤ 司法解剖、行政解剖、承諾解剖、病理解剖	
		⑥ 臨床病理検討会<CPC>	
	B 死後変化	① 早期死体現象	
		② 晩期死体現象	
		③ 死後経過時間の推定	

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 全身症候 約17%	A 発熱		
	B 全身倦怠感		
	C 体重減少・増加		
	D ショック		
	E 意識障害		
	F けいれん		
	G めまい		
	H 脱水		皮膚の緊張度<ツルゴール>
	I 浮腫		
	J 黄疸		
	K 顔貌の異常		
2 皮膚、外表 約6%	A 皮疹	① 紅斑	
		② 紫斑、出血斑	
		③ 色素斑、色素異常	
		④ 丘疹	
		⑤ 結節	
		⑥ 腫瘤	
		⑦ 水疱	
		⑧ 膿疱	
		⑨ 囊腫	
		⑩ 膨疹	
		⑪ びらん	
		⑫ 潰瘍	
		⑬ 毛細血管拡張<telangiectasia>	
		⑭ 硬化、瘢痕、萎縮	
		⑮ 鱗屑、痂皮	
		⑯ 苔癬化	
		⑰ 壊疽	
	B 粘膜疹	① アфта	
	C 爪・毛髪異常	① 脱毛	円形脱毛症
		② 爪の異常	匙状爪
	D 光線過敏		
	E Raynaud現象		
	F 皮膚分泌異常	① 発汗	
		② 皮脂	
	G デルマドローム		
	H 多形皮膚萎縮		
	I 脈管異常	① 血管・リンパ管奇形	くも状血管拡張<血管腫>
	J 小奇形		
	K リンパ節腫脹	① リンパ節転移	Virchow結節
	L 循環障害	① 末梢循環障害	
	M 角化異常		
	N そう痒		
	O 疼痛		

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
3 頭頸部、感覚器 約11%	A 頸部の異常	① 頸部腫瘤	
		② 甲状腺腫	
		③ 頸部腫脹	
	B 視機能障害	① 視力障害	
		② 光覚異常	夜盲、昼盲
		③ 色覚異常	
		④ 視野異常	視野狭窄、半盲、暗点
		⑤ 斜視、斜位	
		⑥ 異常眼球運動、眼振	
	C 眼症状	① 眼精疲労	
		② 眼痛	
		③ 眼の充血	
		④ 眼脂	
		⑤ 流涙	
		⑥ 眼の乾燥感	
		⑦ 羞明	
		⑧ 飛蚊症、光視症	
		⑨ 変視症	
		⑩ 眼球運動異常、複視	
	D 眼組織の異常	① 角膜混濁	
		② 房水セル、房水フレア	
		③ 虹彩ルベオーシス	
		④ 水晶体混濁	
		⑤ 白色瞳孔	
		⑥ 網膜・脈絡膜の異常	
	E 外眼部の異常	① 眼瞼下垂	
		② {眼}瞼裂狭小	
	F 眼球の異常	① 眼球突出	
		② 眼球陥凹	
	G 耳の異常	① 難聴	伝音難聴、感音難聴、混合性難聴
		② 耳鳴	
		③ 耳閉感	
		④ 耳漏	
		⑤ 耳痛	
	H 鼻の異常	① 鼻閉	
		② 鼻漏	
		③ 鼻出血	Kiesselbach部位
		④ 嗅覚障害	
	I 咽頭・口腔の異常	① 咽頭痛	
		② いびき	
		③ 嚥下障害	
		④ 味覚障害	

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
4 呼吸器、心臓、血管 約11%	A 喉頭の異常	① 嘔声、音声障害	
		② 咳嗽	
		③ 呼吸困難	
		④ 咽喉頭異常感	
	B 気管・気管支の異常	① 咳嗽	
		② 喀痰	
		③ 血痰、喀血	
		④ 喘鳴	
	C 呼吸の異常	① 呼吸困難、息切れ	低酸素<O ₂ >血症、高二酸化炭素<CO ₂ >血症、低二酸化炭素<CO ₂ >血症
		② 頻呼吸	
		③ 徐呼吸	
		④ 無呼吸	
	D 呼吸リズムの異常	① Kussmaul呼吸	
		② Cheyne-Stokes呼吸	
		③ Biot呼吸	
		④ 呼吸延長	
	E 呼吸音の変化	① 呼吸音の増強	
		② 呼吸音の減弱・消失	
		③ 気管支呼吸音	
		④ 気管支肺胞呼吸音	
	F 副雑音	① 水泡音<coarse crackles>	
		② 捻髪音<fine crackles>	
		③ いびき音<rhonchi>	
		④ 笛音<wheezes>	
		⑤ stridor	
		⑥ 胸膜摩擦音	
		⑦ 声音振盪	増強、減弱
	G 胸痛		
	H 失神		Adams-Stokes症候群
	I 胸水		
	J 異常心音	① Ⅲ音	
		② Ⅳ音	
		③ opening snap	
		④ 収縮中期クリック	
		⑤ 奔馬調律	
		⑥ 心膜ノック音	
	K 心雑音	① 無害性雑音	
		② 収縮期駆出性<収縮中期性>雑音	
		③ 汎<全>収縮期雑音	
		④ 拡張期輪転様雑音<拡張期ランブル>	
		⑤ 拡張早期灌水様雑音<拡張早期雑音>	

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑥ 連続性雑音	
		⑦ 心膜摩擦音	
	L 不整脈	① 脈拍の欠損、絶対的不整脈	期外収縮、心房細動
	M 脈拍異常	① 速脈、遅脈	
		② 大脈、小脈	
		③ 奇脈	
	N 血管雑音		
	O 血圧異常	① 高血圧	
		② 低血圧	
	P 間欠性跛行		
	Q その他	① チアノーゼ	
		② ばち指	
5 消化器 約11%	A 食欲異常	① 食思<欲>不振	
		② 過食	
	B 口および口腔内の異常	① 舌の異常	舌苔、巨大舌、潰瘍、硬結
		② 口腔粘膜の異常	アフタ
		③ 唾液分泌異常	口腔乾燥症
		④ 口腔内感染	口腔内カンジダ症
		⑤ 歯、歯肉の異常	う歯
		⑥ 口臭	肝性口臭
		⑦ 開口障害、咀嚼障害	
	C 嚥下障害	① 嚥下痛	
		② 通過障害	
		③ 誤嚥	廃用症候群、脳血管障害
	D 上部消化管逆流症状	① むねやけ、吞酸	
		② 悪心、嘔吐	
	E 腹痛	① 内臓痛	
		② 体性痛	
		③ 関連痛	
	F 腹膜刺激症状	① 筋性防御	
		② 反跳痛	Blumberg徴候
	G 消化管出血	① 吐血	
		② 下血	黒色便<タール便>、血便
	H 便通異常	① 下痢	
		② 便秘	
	I 皮膚の異常	① 黄疸	{灰}白色便
		② 腹壁血管怒張	
	J 腹部膨隆、腹部腫瘍	① 鼓腸	
		② 腹水	
		③ 腹部腫瘍	
	K 臓器腫大	① 肝腫大	
		② 脾腫	

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
6 血液、造血器、免疫 約11%	A 貧血		
	B リンパ節腫脹	① 反応性	
		② 腫瘍性	
	C 脾腫	① 反応性	
		② 腫瘍性	
	D 出血傾向	① 紫斑	
		② 点状出血	
		③ 関節内出血、筋肉内出血	
	E 血栓傾向	① 動脈血栓	
		② 静脈血栓	
7 腎、泌尿器、生殖器 約11%	A 尿の量の異常	① 無尿	
		② 乏尿	
		③ 多尿	夜間多尿
	B 下部尿路症状	① 排尿症状	尿勢低下、尿線途絶、排尿遅延、腹圧排尿
		② 蓄尿症状	頻尿、夜間頻尿、尿意切迫感、尿失禁、遺尿<夜尿>
		③ 排尿後症状	残尿感
	C その他の排尿の異常	① 排尿痛	
		② 尿閉	
	D 尿の性状の異常	① タンパク尿	
		② 糖尿	
		③ ビリルビン尿	
		④ 血尿	
		⑤ 膿尿	無菌性膿尿
		⑥ 血色素<ヘモグロビン>尿	
		⑦ ミオグロビン尿	
		⑧ 色素尿	
		⑨ 乳び尿	
	E 精液の性状	① 血精液症	
	F 男性性機能の異常	① 勃起障害	
		② 射精障害	
	G 女性生殖器の異常	① 外生殖器<外陰部>の異常	
		② 女性性器・膀胱の下垂・脱出	
		③ 帯下	
		④ 月経異常(月経痛、中間痛<排卵痛>、月経周期と量の異常)	
		⑤ 性器出血	
		⑥ 不妊、不育	
	H 妊娠時の異常	① 妊娠悪阻	
		② 性器出血	
		③ 下腹痛	
		④ 破水	
8 心理、精神機能 約6%	A 知能障害	① 知的障害<精神遅滞>	
		② 認知症	

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
		③ 二次性認知症	
	B 記憶障害	① Korsakoff症候群	
		② 健忘	
	C 発達障害	① 学習障害	
		② 言語発達遅滞	
	D 失見当識		
	E 知覚障害	① 錯覚	
		② 幻覚	
	F 思考障害	① 思路障害	
		② 妄想	
		③ 強迫観念	
	G 感情障害	① 不安、パニック発作	
		② 恐怖	
		③ うつ状態	
		④ 躁状態	
		⑤ 両価性	
	H 自我障害	① 離人症、転換、解離	
		② させられ<作為>体験	
	I 意欲と行動の障害	① 食欲異常	
		② 性欲異常	
		③ 精神運動性興奮	
		④ 緊張病症状候群	
		⑤ 注意欠陥、多動	
		⑥ 無為、自閉	
	J 睡眠障害	① 不眠	
		② 過眠	
	K 不定愁訴	① 心気症	
	L 病識欠如		
	M 疎通性障害		
	N 脳器質精神症候群		
	O 意識障害	① 意識混濁	
		② もうろう状態	
		③ せん妄	
9 神経、運動器 約11%	A 高次脳機能障害	① 失語	Broca失語、Wernicke失語、Gerstmann症候群
		② 失行	
		③ 失認	
		④ 注意障害	
		⑤ 遂行機能障害	
	B 広範な脳機能障害	① 植物状態	
		② 失外套症候群	
		③ 無動性無言症	
		④ 閉じ込め症候群<locked-in syndrome>	

VI 症候[約12%]

大項目	中項目	小項目	備考
	C 脳神経障害		Bell麻痺
	D 言語障害	① 構音障害	
		② 言語発達障害	
	E 髄膜刺激症候	① 項部硬直	髄膜炎、くも膜下出血
		② Kernig徴候	
	F 頭囲の異常	① 大頭	
		② 小頭	
		③ 狭頭	
	G 筋の障害	① 筋萎縮	
		② 筋力低下	
		③ 筋肉痛	
	H 反射異常		Babinski徴候<Babinski反射>、Chaddock反射
	I 運動系の異常	① 運動麻痺	
		② 不随意運動	振戦、ミオクローヌス、舞踏運動、ジストニア、固定姿勢保持困難<asterixis>、アテトーシス、チック
		③ 運動失調	
		④ 錐体路徴候	痙縮
		⑤ 錐体外路徴候	強剛
		⑥ 起立・歩行障害	
	J 平衡・感覚・自律神経系の障害	① 感覚鈍麻	
		② 異常感覚	
		③ 平衡障害	
		④ 自律神経障害	
	K 頭蓋内圧亢進	① 脳ヘルニア	
	L 脊髄・神経根障害	① 脊髄障害	横断性脊髄症、Brown-Séquard症候群
		② 神経根障害	神経根症
		③ 末梢神経障害	
	M 脊柱の異常	① 姿勢の異常	不良姿勢
		② 脊柱変形	側弯、後弯、前弯、円背、平背
		③ 脊椎運動制限	
	N 関節の障害	① 関節拘縮	良肢位<機能肢位>
		② 関節強直	
		③ 関節弛緩	
		④ 関節動揺性	
		⑤ 関節不安定性	
		⑥ 関節痛	
		⑦ 関節腫脹	
		⑧ 関節破壊、関節変形	
	O その他	① 頭痛、頭重感	
		② 肩凝り	

VI 症候[約12%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
10 内分泌、代謝、 栄養 約6%		③ 背部痛	
		④ 腰痛	
	A 肥満、やせ		
	B 身長の異常	① 高身長、低身長	
	C 体毛の異常	① 多毛、脱毛、男性化徴候	
	D 乳腺の異常	① 女性化乳房、乳汁漏出	
	E 糖尿		

Ⅶ 診察[約7%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 二次・三次救急の診察 約30%	A 初診時の評価	① バイタルサイン	動脈血酸素飽和度<SpO ₂ >
		② 意識レベル	Japan coma scale<JCS>、Glasgow coma scale<GCS>
		③ 心停止	院外心停止<OHCA>
		④ 血液ガス・電解質分析	ガス交換・酸塩基平衡・電解質の評価
		⑤ 臓器障害の状態把握	
		⑥ 運動機能障害の判定	
		⑦ 緊急治療の要否・部位別治療優先順位の判断	
		⑧ 重症度と緊急度	
	B 病態に応じた診察、評価と原因の鑑別	① ショック	ショック指数<shock index>
		② 意識障害	
		③ 脳血管障害	
		④ 急性呼吸不全	
		⑤ 急性心不全	
		⑥ 急性冠症候群	
		⑦ 急性腹症	
		⑧ 急性消化管出血	
		⑨ 急性肝不全	肝性昏睡
		⑩ 急性腎障害	
		⑪ 内分泌・代謝疾患	糖尿病性昏睡、低血糖昏睡、甲状腺クリーゼ、副腎不全
		⑫ 精神科救急	自傷他害、精神運動興奮
		⑬ 重症感染症	
		⑭ 外傷	
		⑮ 急性中毒	トキシドローム
		⑯ 熱傷(電撃症、化学的損傷を含む)	
		⑰ バイオテロ	
		⑱ 急性放射線障害	
2 高齢者の診察と評価 約30%	A 高齢者の診察	① 診察時の注意	
		② 既往歴・合併症の評価	
	B 高齢者総合機能評価 [comprehensive geriatric assessment <CGA>]	① 日常生活動作<ADL>、手段的日常生活動作<IADL>	
		② 認知機能	
		③ 気分・意欲	
		④ 運動機能	
		⑤ 嚥下障害	
		⑥ 生活環境	
		⑦ 介護の必要度	フレイルの評価
3 小児の診察 約20%	A 乳幼児の診察	① 一般的診察	
		② 成長・発達の評価	
		③ 育児環境の評価	
		④ 乳幼児の救急時の状態把握	

Ⅶ 診察[約7%]

大項目	中項目	小項目	備考
4 胎児・新生児の診察と評価 約10%	B 学童期の児の診察	① 一般的診察	
		② 成長・発達の評価	
		③ 生活環境の評価	
		④ 心理的評価	
	C 思春期の児の診察	① 一般的診察	
		② 二次性徴の評価	
		③ 心理的評価	
	A 胎児の診察	① 胎児の位置の診断	胎位、胎向、胎勢
		② 胎動	
		③ 胎児心拍数の測定	
		④ 発育・成熟の診断	
		⑤ 出生前診断	
	B 胎児付属物の診察	① 胎盤・臍帯・羊水の診断	羊水量、羊水の性状、胎盤の位置、臍帯動脈血pH
	C 新生児の診察	① 一般的診察、Apgarスコア	
		② 神経学的診察	フロッピーインファント
		③ 診察時の注意	
		④ 外表奇形	
5 妊・産・褥婦と胎児の診察 約10%	A 妊婦の診察	① 妊娠の診断	
		② 妊娠時期の診断	
		③ 妊婦健康診査	
		④ 胎位・胎向の診断	Leopold診察法
		⑤ 頸管成熟度	Bishopスコア
	B 産婦の診察	① 分娩時期の診断	
		② 胎児下降度の診断・表現法	
		③ 児頭回旋の診断・表現法	
		④ 頸管開大度の診断・表現法	
		⑤ 陣痛の観察	胎児心拍数陣痛図<CTG>
		⑥ パルトグラム	
		⑦ 胎盤剥離徴候	
	C 褥婦の診察	① 性器の復古	
		② 全身の復古	
		③ 乳汁分泌	

Ⅷ 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 検体検査 約23%	A 検体の採取と保存	① 採血(種類、部位)	静脈血、動脈血、毛細血管血
		② 採尿	
		③ 採便	
		④ 喀痰	
		⑤ 穿刺	胸水、腹水、脳脊髄液、骨髄、Douglas窩、関節液、嚢胞貯留液、膿、羊水
		⑥ 生検、細胞診	
		⑦ 新生児・乳幼児の採血と穿刺法	
		⑧ 法医学的試料の採取	
		⑨ 抗凝固剤、血清・血漿分離法、検体保存法	
		⑩ 保存期間	
	B 一般臨床検査	① 尿	定性、定量、沈渣
		② 糞便	潜血、虫卵
		③ 喀痰	
		④ 脳脊髄液	
		⑤ 穿刺液	
		⑥ 関節液	
		⑦ 精液	
		⑧ 子宮頸管粘液	
		⑨ 腔分泌物	
	C 血液学検査	① 赤沈	
		② 血球(網赤血球、赤血球・白血球・血小板形態を含む)	May-Giemsa染色、Wright染色、ペルオキシダーゼ染色、PAS染色、エステラーゼ染色、鉄染色、フローサイトメトリー
		③ 凝固・線溶・血小板機能検査	
		④ 骨髄検査	骨髄穿刺、骨髄生検
		⑤ 溶血に関する検査	
		⑥ 血液型、交差適合試験<クロスマッチ>、輸血関連検査	
	D 生化学検査	① タンパク、タンパク分画	
		② 生体色素	ビリルビン
		③ 酵素、アイソザイム	
		④ 含窒素成分	
		⑤ 糖質および糖代謝関連物質	
		⑥ 脂質および脂質代謝関連物質	
		⑦ 水、電解質、酸塩基平衡	
		⑧ 重金属、微量元素	
		⑨ ビタミン	
		⑩ ホルモン	
		⑪ 血中薬物・毒物と代謝産物	
		⑫ 腫瘍マーカー	
	E 免疫血清学検査	① 炎症反応	CRP

VIII 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
		② 感染の抗原・抗体	
		③ 自己抗体	抗GAD抗体、抗インスリン抗体
		④ 免疫グロブリン	クラス、サブクラス
		⑤ IgE、特異的IgE検査	
		⑥ 補体	
		⑦ 細胞性免疫	ツベルクリン反応
		⑧ 食菌能	
		⑨ 移植免疫	組織適合{性}抗原<HLA>
		⑩ 細胞表面抗原	
		⑪ 抗体検査法[補体結合反応<CF>、赤血球凝集抑制試験<HI>、中和試験<NT>]	イムノアッセイ
	F 微生物学検査	① 病原微生物の同定・検鏡	単染色、Gram染色、Ziehl-Neelsen染色、墨汁染色<墨汁法>、PAS染色、Grocott染色、Giemsa染色、Gimenez染色
		② 病原微生物の培養・分離・同定	
		③ 免疫学的検査による診断	結核菌特異的全血インターフェロン γ 遊離測定法<IGRA>、尿中抗原
		④ 薬剤感受性試験	
		⑤ 病原体別検査	細菌、抗酸菌、梅毒トレポネーマ、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ、レプトスピラ、ウイルス、真菌、原虫、寄生虫
		⑥ ウレアーゼ試験、尿素呼気試験、尿中・血清抗体、便中抗原	<i>Helicobacter pylori</i>
		⑦ PCR法、RT-PCR法、pulsed field gel electrophoresis	
	G 病理組織学検査、細胞診	① 生検検体採取法、内視鏡的鉗子生検、ポリープ切除、内視鏡的粘膜切除、経皮的生検	
		② 生検・手術切除検体取扱法	固定法、包埋法
		③ 標本作製法(凍結切片を含む)	
		④ 迅速診断の適応、標本の取扱法、診断限界	
		⑤ 細胞診(検体の採取、取扱法、染色法、報告様式)	Papanicolaou染色
		⑥ 病理学的組織検体の染色法	H-E染色、PAS染色、PAM染色、SudanⅢ染色、Congo-Red染色、Gram染色、Ziehl-Neelsen染色、Grocott染色、KB<Klüver-Barrera>染色、May-Giemsa染色、免疫組織化学染色、酵素組織化学染色、FISH法
		⑦ 電子顕微鏡による病理検査	固定法

Ⅷ 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
	H 染色体検査、体細胞遺伝子検査	① 分染法 ② 常染色体 ③ 性染色体 ④ 悪性腫瘍細胞の遺伝子検査	
2 生体機能検査 約23%	A 呼吸機能検査	① スパイロメトリ	
		② 肺気量分画	
		③ 肺拡散能力	
		④ flow-volume曲線	
		⑤ 動脈血ガス分析	
		⑥ 睡眠時無呼吸症候群検査	ポリソムノグラフィ
		⑦ ピークフローメトリ	
	B 心機能検査	① 心電図検査	Holter心電図検査
		② 心エコー検査	ドプラ法、カラードプラ法
		③ 心筋シンチグラフィ	
		④ 心血管CT・MRI	
		⑤ 心臓カテーテル検査	
		⑥ 心臓電気生理学的検査<EPS>	
	C 消化管機能検査	① 唾液分泌検査	
		② 消化管運動機能検査	食道内圧検査、肛門内圧検査
		③ pHモニタリング	
		④ タンパク漏出試験	α_1 -アンチトリプシン法
		⑤ ガストリン・ペプシノゲン測定	
	D 肝・胆道機能検査	① 色素排泄試験	ICG<indocyanine green>試験
	E 膵機能検査	① 外分泌機能検査	BT-PABA試験<PFD試験>
		② 内分泌機能検査	経口グルコース負荷試験<75g OGTT試験>
	F 内分泌・代謝機能検査	① 血中・尿中ホルモン測定	
		② 内分泌機能検査、負荷試験	
		③ 代謝機能検査	
		④ 核医学的機能検査	甲状腺 ¹²³ I摂取率
	G 腎機能検査	① 推定糸球体濾過量<eGFR>	クレアチニークリアランス
		② 尿タンパク・酵素	尿中アルブミン、 β_2 -ミクログロブリン
	H 排尿機能検査	① 尿流測定	
		② 膀胱内圧測定	
		③ 残尿量測定	
	I 脳波検査	① 波形診断	発作性異常波
		② 異常脳波賦活法	
		③ 聴性脳幹反応<ABR>	
	J 筋電図・神経伝導検査	① 針筋電図検査	
		② 反復誘発筋電図検査	
		③ 末梢神経伝導検査	

Ⅷ 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
3 皮膚・感覚器・発声機能検査 約8%	A 皮膚検査	① プリックテスト、皮内テスト	
		② 針反応	
		③ パッチテスト、光パッチテスト	
		④ 光線テスト	
		⑤ 薬剤リンパ球刺激試験(DLST)	
		⑥ 皮膚温測定法、サーモグラフィ	
		⑦ Tzanck試験	
		⑧ Nikolsky現象	
		⑨ ダーモスコピー	
		⑩ 苛性カリ<KOH>直接鏡検法	
		⑪ 皮膚描記法	Darier徴候
		⑫ 硝子圧法	
		⑬ 発汗テスト	
	B 視器一般検査	① 徹照法	
		② 細隙灯顕微鏡検査	
		③ 眼圧検査	
		④ 眼底検査、蛍光眼底造影検査	
		⑤ 隅角検査	
		⑥ 涙液分泌検査	
		⑦ フレアセルフオートメトリ	
		⑧ スペキュラーマイクロスコープ	
		⑨ 角膜知覚検査	
		⑩ 角膜曲率測定	
		⑪ 眼軸長検査	
		⑫ 光干渉断層計<OCT>	
	C 視機能検査	① 視力検査	Landolt環
		② 視野検査	
		③ 暗点検査	
		④ 色覚検査	
		⑤ 光覚<暗順応>検査	
		⑥ 屈折検査	
		⑦ 調節検査	
		⑧ 眼位検査	
		⑨ 眼球運動検査、眼球電図検査<EOG>	
		⑩ 両眼視機能検査	
		⑪ 網膜電図検査<ERG>	
		⑫ 視覚誘発電位<VEP>	
	D 聴覚・平衡機能検査	① 純音聴力検査<気導・骨導聴力閾値検査>	
		② 自記オーディオメトリ	
		③ 語音聴力検査	
		④ 音叉検査	
		⑤ 他覚的聴力検査	聴性脳幹反応<ABR>、耳音響放射<OAE>

Ⅷ 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
		⑥ 幼児聴力検査	遊戯聴力検査
		⑦ インピーダンスオーディオメトリ	あぶみ骨筋反射
		⑧ 平衡機能検査	重心動揺検査
		⑨ 眼球運動・眼振の検査	自発眼振、頭位・頭位変換眼振、温度眼振、回転眼振
	E 嗅覚・味覚検査	① オルファクトメトリ	
		② 電気味覚検査	
		③ 濾紙ディスク検査	
	F 発声・発語検査	① 発声機能検査	
		② 構音検査	
4 心理・精神機能検査 約8%	A 心理学的検査	① 質問紙法	
		② Rorschachテスト	
		③ 簡易精神症状評価尺度[Brief Psychiatric Rating Scale<BPRS>]	
		④ Hamiltonうつ病評価尺度<Hamilton Rating Scale for Depression>	
		⑤ Beckのうつ病自己評価尺度	
		⑥ 状態特性不安検査<STAI>	
	B 知能検査	① Wechsler成人知能検査<WAIS-III>	
		② Wechsler児童用知能検査<WISC-IV>	
		③ 田中・Binet知能検査	
		④ Mini-Mental State Examination<MMSE>	
		⑤ 改訂長谷川式簡易知能評価スケール	
		⑥ Wechsler記憶検査<WMS-R>	
	C 神経心理学的検査	① 標準型失語症検査<SLTA>	
		② リバーミード行動記憶検査<RBMT>	
		③ Wechsler記憶スケール<WMS>	
		④ 前頭葉機能検査<FAB>	
	D 発達テスト	① 津守・稲毛式発達検査	
		② スクリーニング法(日本版Denver式、遠城寺式を含む)	
5 妊娠・分娩・胎児・新生児の検査 約8%	A 妊娠の検査	① 妊娠反応	
		② 超音波検査	
	B 妊娠中の検査	① 血液検査	血液型、不規則抗体、感染症検査
		② 超音波検査	子宮頸管長
		③ 分泌物検査	B群連鎖球菌
	C 分娩の検査	① 超音波検査	
		② 胎児心拍数陣痛図<CTG>	

Ⅷ 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
	D 胎児発育・成熟の検査	① 超音波検査	頭殿長<CRL>、大横径<BPD>、大腿骨長<FL>、腹囲<AC>、推定胎児体重<EFBW>
		② 胎児成熟度検査	肺サーファクタント、マイクロバブルテスト
	E 胎児の健全性<健全性、fetal well-being>の検査	① 胎児心拍数陣痛図<CTG>	
		② ノンストレステスト<NST>	
		③ コントラクションストレステスト<CST>	
		④ biophysical profile score <BPS>	
		⑤ 超音波ドプラ法	パルスドプラ法
		⑥ 羊水量	
		⑦ 胎動	
		⑧ 血液ガス分析	臍帯動脈血pH
	F 胎盤・臍帯・羊水の検査	① 超音波検査	羊水ポケット、羊水指数<AFI>
	G 先天異常の検査	① 羊水検査	
		② 絨毛検査	
		③ 胎児血液検査	
		④ 超音波検査	
	H 新生児の検査	① 新生児マススクリーニング	タンデムマス・スクリーニング
		② マイクロバブルテスト	
6 画像検査 約15%	A 超音波検査	① 原理と検査技術	
		② ドプラ法、カラードプラ法、パワードプラ法	造影超音波診断法
		③ 超音波所見	高・低エコー域、音響陰影、音響増強
		④ エコー下穿刺生検	
		⑤ 血流測定	
		⑥ 管腔内超音波検査(血管、胆管、膵管、気管支)	
	B 電離放射線	① 種類と性質	
		② 発生装置	
		③ 線質	
		④ 放射性同位元素	
		⑤ 放射能	
	C 放射線の単位と測定	① 単位[吸収線量(Gy)、線量当量(Sv)、放射能(Bq)]	
		② 測定	
	D 放射線等検査用機器・器材	① エックス線撮影・透視装置	フィルム、蛍光増倍管、イメージングプレート、平面検出器
		② 血管撮影装置、digital subtraction angiography<DSA>装置	
		③ CT装置	
		④ 核医学検査装置	ガンマカメラ、PETカメラ

VIII 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
	E 医療放射線被曝の軽減	⑤ 磁気共鳴画像<MRI>装置	
		① 正当化	
		② 最適化	
		③ 線量限度	
		④ 被ばく低減3原則	時間、距離、遮蔽
	F 画像検査における医療情報	① 画像情報システム	
		② 画像診断支援システム<CAD>	
	G エックス線単純撮影	① 種類と適応	デジタルラジオグラフィ<DR>、コンピューテッドラジオグラフィ<CR>
		② コントラスト	
		③ 鮮鋭度	
	H 血管造影検査	① 種類、適応、禁忌	
		② 造影剤	
		③ 合併症	
	I 消化管造影検査	① 種類、適応、禁忌	
		② 造影剤	
		③ 合併症	
	J 尿路造影検査	① 種類、適応、禁忌	
		② 造影剤	
		③ 合併症	
	K その他の造影検査	① 唾液腺造影検査	
		② 咽頭造影検査	嚥下機能検査
		③ 胆道<胆嚢・胆管>造影検査	
		④ 経皮経肝胆道造影検査<PTC>	
		⑤ 内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査<ERCP>	
		⑥ 子宮卵管造影検査<HSG>	
		⑦ 関節造影検査	
		⑧ 脊髄腔造影検査<ミエログラフィ>	
		⑨ 椎間板造影検査	
	L CT	① 原理、CT値	window幅、windowレベル
		② ヘリカルCT	
		③ multidetector-row CT<MDCT>	
		④ 三次元再構成画像(冠状断、矢状断)	三次元CT血管撮影<3D-CTA>
		⑤ 適応	
	M 造影CT	① 適応と禁忌	
		② 造影剤	
		③ 造影効果	
		④ 副作用	アナフィラキシーショック、ヨードアレルギー、造影剤腎症
		⑤ ダイナミックCT	動脈優位相、門脈相、平衡相

Ⅷ 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
	N 磁気共鳴画像検査<MRI>の原理と技術	① 原理、MR信号	
		② 安全管理	絶対禁忌と相対禁忌
		③ 撮像法	T1強調像、T2強調像、プロトン密度強調像、T2*強調像、FLAIR像、拡散強調像、脂肪抑制像
		④ 磁気共鳴胆管膵管撮影<MRCP>	
		⑤ 磁気共鳴血管撮影<MRA>	
		⑥ MRスペクトロスコピー<MRS>	
	O 造影磁気共鳴画像検査<造影MRI>	① 種類、適応、禁忌	
		② 造影剤と副作用	Nephrogenic systemic fibrosis<NSF>
		③ 造影効果	
		④ ダイナミックMRI	
	P 核医学検査の原理と技術	① 放射性医薬品	
		② ポジトロン核種	FDG
		③ トレーサー原理	
	Q シンチグラフィ	① 種類と適応	
		② 撮影法	早期相、遅延相、動態検査
		③ シングルフォトンエミッションCT<SPECT>	
		④ ポジトロンエミッション断層撮影<PET>	PET/CT
7 内視鏡検査 約15%	A 内視鏡の種類と原理	① 硬性鏡	
		② ファイバースコープ	
		③ 電子スコープ	強調画像観察
		④ 拡大内視鏡	
		⑤ カプセル内視鏡	
		⑥ 超音波内視鏡	
	B 内視鏡検査の適用部位	① 外耳、中耳	
		② 鼻腔、副鼻腔	
		③ 咽頭、喉頭	
		④ 気管、気管支	気管支肺胞洗浄<BAL>
		⑤ 胸腔、縦隔	
		⑥ 食道、胃、十二指腸	
		⑦ 小腸	ダブルバルーン内視鏡
		⑧ 結腸、直腸、肛門	
		⑨ 胆道、膵管	
		⑩ 腹腔	
		⑪ 泌尿器(腎杯、腎盂、尿管、膀胱、尿道)	
		⑫ 女性性器	コルポスコピー、ヒステロスコピー
		⑬ 関節腔	
		⑭ 血管	

VIII 検査[約9%]

大項目	中項目	小項目	備考
	C 内視鏡検査の基本手技と合併症	① 適応と禁忌	検査前全身状態の評価
		② 前処置とその合併症	咽頭麻酔、局所麻酔、鎮痛薬、消化管運動抑制薬、腸管洗浄
		③ 基本手技	挿入、観察、生検、擦過、散布
		④ 合併症	穿孔、出血

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 食事・栄養療法 約10%	A 食事・栄養療法の基本	① 栄養アセスメント	
		② 栄養サポートチーム<NST>	
		③ 食事摂取基準量	
		④ 栄養療法	食事療法
		⑤ 妊・産婦の栄養マネジメント<栄養管理>	
		⑥ 乳幼児の栄養マネジメント<栄養管理>	
		⑦ 高齢者の栄養マネジメント<栄養管理>	
	B 栄養摂取の方法	① 経口栄養	
		② 経管・経腸栄養	
		③ 経静脈栄養	末梢静脈栄養、中心静脈栄養
	C 適応	① 過栄養	
		② 栄養不良	
		③ ビタミン欠乏症	
		④ 微量元素欠乏	
	D 合併症	① 機械的合併症	
		② 代謝性合併症	
2 薬物療法 約10%	A 薬物の選択	① 病態	
		② 薬物動態	
		③ 患者要因	
	B 薬物動態	① 吸収、分布、代謝、排泄	
		② 一回投与、反復投与	
		③ 治療薬物モニタリング<TDM>	
		④ ゲノム要因	
	C 薬効	① 薬物の相互作用(相乗、拮抗、酵素誘導、酵素阻害)	併用禁忌
		② 食物・嗜好品との相互作用	
		③ 薬効の評価、プラセボ効果	
		④ 適応と禁忌	
	D 用法・用量	① 投与経路と種類の特徴(経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻)	
		② 剤型	
		③ 服薬計画	併用薬
		④ 服薬指導	
		⑤ アドヒアランス	
		⑥ 新生児、小児、妊婦、高齢者	ポリファーマシー
		⑦ 肝・腎障害	
	E 有害事象	① 種類	
		② 機序	
		③ 対策	
	F 疾患に応じた薬物治療	① 中枢神経作用薬	
		② 自律神経作用薬	
		③ 循環器作用薬	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		④ 呼吸器作用薬	
		⑤ 消化器作用薬	
		⑥ 利尿薬	
		⑦ 副腎皮質ステロイド及び非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)	
		⑧ 抗菌薬	感受性試験、抗菌スペクトル
		⑨ 抗腫瘍薬	
		⑩ 麻薬性鎮痛薬・鎮静薬	
3 輸液、輸血、血液浄化 約10%	A 輸液	① 適応と一般的注意	
		② 輸液の種類と用法	
	B 輸血	① 適応と一般的注意	
		② 適正使用	
		③ 血液型、交差適合試験<クロスマッチ>	
		④ 同種輸血と自己輸血	
		⑤ 成分輸血(赤血球液、洗浄赤血球液、濃厚血小板、新鮮凍結血漿、血漿分画製剤)	アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤、血液凝固因子製剤
		⑥ 交換輸血	
		⑦ 輸血副作用	アナフィラキシー
		⑧ 輸血後GVHD	
		⑨ 輸血関連急性肺障害	
		⑩ 輸血による感染症	
	C 血液浄化	① 血液透析	
		② 腹膜透析	
		③ 血漿交換	
		④ 血液濾過	
		⑤ 血液吸着	
4 手術、周術期の管理、麻酔 約10%	A 手術	① 手術適応	
		② 手術時期	
		③ 消毒と滅菌	
		④ 出血	
		⑤ 止血	
		⑥ 凝固・線溶異常	
		⑦ 外科的侵襲に対する反応	
	B 基本的な手術手技	① 切開法	
		② 止血法	
		③ 縫合法、結紮法	
		④ 切除術	
		⑤ 摘出術	
		⑥ 植皮術	
		⑦ ドレナージ	
		⑧ 減圧法	
	C 術後合併症	① 腎不全	
		② 肝機能障害	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		③ 急性呼吸窮迫症候群<ARDS>	
		④ 心不全	
		⑤ ショック	
		⑥ 呼吸器合併症	
		⑦ 多臓器不全<MOF>	
		⑧ 多臓器機能障害症候群<MODS>	
	D 術前麻酔管理	① 術前評価	
		② 術前処置	
		③ 麻酔前投薬	
	E 全身麻酔	① 吸入麻酔	
		② 静脈麻酔	
		③ 筋弛緩薬とその拮抗薬	
		④ 覚醒	
	F 麻酔導入	① 気道確保	
		② 気管挿管	
		③ ラリンジアルマスク	
		④ 急速・緩徐導入	
	G 術中麻酔管理	① 麻酔の維持	
		② 輸液	細胞外液補充液、膠質液
		③ 輸血	
		④ 酸塩基平衡	
		⑤ 呼気終末二酸化炭素濃度<ETCO ₂ >	
		⑥ P/F<PaO ₂ /FI0 ₂ >比	
		⑦ 人工呼吸	
		⑧ 悪性高熱症	
		⑨ 体温	
		⑩ モニタリング	
		⑪ 麻酔事故	
		⑫ 麻酔合併症	
		⑬ 年齢に応じた麻酔法	小児・高齢者麻酔
		⑭ 産科麻酔	
		⑮ 特殊疾患の麻酔	心臓疾患・内分泌代謝疾患・肺疾患・頭蓋内疾患の麻酔
		⑯ 緊急手術	
		⑰ 低体温療法	
	H 術後管理と集中治療	① 体位	
		② 術後鎮痛法	
		③ 呼吸循環管理	
		④ 脳圧管理	
		⑤ 輸液管理	
		⑥ 栄養管理	静脈栄養・経腸栄養の選択
		⑦ 感染予防	

IX 治療[約13%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
		⑧ 手術創の処置	創傷被覆・保護材
		⑨ 離床	
	I 局所麻酔	① 脊髄くも膜下麻酔	
		② 硬膜外麻酔	
		③ 伝達麻酔法	
		④ 浸潤・表面麻酔	
		⑤ 適応、禁忌	
		⑥ 局所麻酔薬中毒	
	J 疼痛の管理	① ペインクリニック	
		② 神経障害性疼痛	
		③ アロディニア	
		④ 術後創部痛	
		⑤ 神経ブロック	末梢神経、神経叢、星状神経節
5 臓器・組織・細胞移植、人工臓器、再生医療 約5%	A 移植の種類と適応	① 臓器・組織・細胞移植	
	B 提供者<ドナー>と被移植者<レシピエント>	① 自家・同種・異種移植	
		② 生体臓器提供、心停止下での臓器提供、脳死下での臓器提供	
		③ 日本臓器移植ネットワーク、アイバンク、組織バンク、骨髄バンク	
		④ 臓器提供、意思表示、同意の条件	意思表示カード
		⑤ 倫理的・社会的・文化的配慮	
	C 移植と免疫		
	D 人工臓器の種類と適応	① 人工腎臓、血液浄化法	
		② 人工血管、人工弁(機械弁、生体弁、同種生体弁)	
		③ 人工心肺、機械的補助循環(VAD、ECMO、PCPS、IABP)	
		④ ペースメーカ、植込み型除細動器	
		⑤ 人工関節・骨・腱・靱帯	
		⑥ 眼内レンズ	
		⑦ 人工聴覚器(人工内耳・中耳)	
6 放射線治療 約5%	A 放射線感受性	① 正常組織の放射線感受性	
		② 腫瘍の放射線感受性	放射線増感剤
		③ 放射線治療可能比<正常組織耐容線量/腫瘍致死線量>	
	B 放射線効果の修飾	① 酸素効果	
		② 化学療法の併用	
		③ 温熱効果	
		④ 細胞周期	
		⑤ 線エネルギー付与<LET>	
		⑥ 線量率効果	
	C 空間的線量分布	① 深部線量百分率	
		② 線量分布図	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		③ 治療計画	
		④ 標的体積、リスク臓器	
		D 時間的線量配分	
		① 通常分割照射	
		② 多<過>分割照射	
		③ 少<寡>分割照射	
		④ 回復・再増殖・再酸素化・再分布<4R>	
		E 外照射	
		① 多門照射	直線加速器
		② 定位放射線照射	
		③ 強度変調放射線治療<IMRT>	
		④ 画像誘導放射線治療<IGRT>	
		⑤ 粒子線治療	
		F 小線源治療	
		① 密封小線源治療	腔内照射、組織内照射
		② 放射性同位元素<RI>内用療法<内{部}照射療法>	
		G 放射線治療の適応	
		① 根治的照射	
		② 予防的照射	
		③ 緩和的照射	
		H 集学的治療	
		① 術前・術中・術後<周術期>照射	
		② 化学放射線療法	
		I 照射の合併症	
		① 急性反応<障害>	
		② 晩期反応<障害>	
7 インターベンショナルラジオロジー<IVR> 約5%	A 血管系治療	① 適応	
		② 動脈塞栓術<TAE>	出血、動脈瘤、腫瘍
		③ 動脈化学塞栓療法<TACE>	肝細胞癌
		④ バルーン閉塞下経静脈的静脈瘤閉塞<BRTO>	胃静脈瘤
		⑤ 経皮血管形成術<PTA>、ステント留置{術}	冠動脈、頸動脈、腎動脈、末梢動脈
		⑥ ステントグラフト内挿術	胸部・腹部大動脈瘤
		⑦ 血栓溶解療法、血栓回収術	
		⑧ カテーテルアブレーション	
		⑨ 異物除去術	
		⑩ 動注化学療法	動注リザーバー留置
		⑪ 下大静脈フィルター留置術	
		⑫ 硬化療法	静脈瘤
		⑬ 経皮的中心静脈<CV>ポート留置術	
		⑭ 動脈瘤コイル塞栓術	脳動脈瘤
	B 非血管系治療	① 適応	
		② 方法(エックス線透視下・超音波下・CT{ガイド}下治療)	
		③ 経皮的ドレナージ	胆道、尿路、膿瘍
		④ 嚢胞穿刺	
		⑤ 除石術	胆石、腎結石
		⑥ 拡張術、ステント留置{術}	気道、食道、胆道、消化管

IX 治療[約13%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
		⑦ 経皮的胃瘻造設	
		⑧ 神経ブロック	
		⑨ 経皮的局所療法	ラジオ波焼灼術、凍結治療、硬化療法
		⑩ 経皮的生検	CTガイド下生検
8 内視鏡治療 約5%	A 種類と適応	① 止血、凝固、結紮、クリッピング	
		② 硬化療法	
		③ 切開、切除	
		④ 拡張、ステント留置{術}	
		⑤ 照射、レーザー	
		⑥ 異物除去術	
		⑦ 内視鏡下手術	
9 リハビリテーション 約10%	A リハビリテーションの概念	① 理念	
		② 急性期リハビリテーション	
		③ 回復期リハビリテーション	
		④ 維持期リハビリテーション	
		⑤ 地域リハビリテーション	
		⑥ 小児リハビリテーション	
		⑦ リハビリテーション・チーム	
		⑧ 自立生活支援	
		⑨ 社会参加	
	B リハビリテーションの技術	① 理学療法	筋力増強訓練、関節可動域訓練、基本動作訓練、歩行訓練、促通訓練
		② 作業療法	
		③ 言語聴覚療法	失語症訓練、構音障害訓練、摂食・嚥下訓練
		④ 日常生活動作<ADL>訓練	
		⑤ 認知リハビリテーション	
		⑥ 物理療法	
		⑦ リハビリテーション工学	
		⑧ 職業リハビリテーション	
		⑨ 福祉用具	義肢、装具、移動機器(杖、白杖、歩行器、車椅子、リフト)、自助具
		⑩ 住宅改修	
	C 身体障害のリハビリテーション	① 脳血管障害	
		② 頭部外傷	
		③ 脊髄損傷	
		④ 脳性麻痺	
		⑤ 神経・筋疾患	
		⑥ 骨・関節疾患	
		⑦ 切断	
		⑧ 視覚障害<ロービジョン>	ロービジョンケア
		⑨ 音声・言語・咀嚼機能障害	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
	D 精神・知的・発達障害のリハビリテーション	⑩ 内部障害	心臓、呼吸器、腎臓、膀胱、直腸、小腸
		⑪ 廃用症候群	
		① 生活指導、療育	
		② 作業療法	
		③ レクリエーション療法	
		④ 生活技能訓練[social skills training<SST>]	
		⑤ デイケア、ナイトケア、ナイトホスピタル	
		⑥ 作業所、授産所	就労支援
		⑦ 地域生活支援センター	グループホーム、福祉ホーム、福祉工場、援護寮
		⑧ 患者会、患者クラブ	
10 二次・三次救急の治療 約15%	A 二次・三次救急に必要な処置	① 気道確保	気管挿管、輪状甲状靱帯穿刺・切開、輪状甲状軟骨間膜穿刺・切開、気管切開
		② 呼吸療法	酸素投与法、人工呼吸療法
		③ 胸骨圧迫	心肺蘇生法<CPR>
		④ 電気ショック(同期、非同期)	AED、除細動、カルディオバージョン
		⑤ 致死的不整脈の治療	緊急ペーシング
		⑥ 輸液療法	蘇生の投与速度・量、静脈選択と確保
		⑦ 輸血療法	緊急度、投与法、合併症
		⑧ 機械的呼吸・循環補助	PCPS、ECMO
		⑨ 外科的気道確保	
		⑩ 脳室ドレナージ	
		⑪ 心嚢穿刺・ドレナージ	心膜開窓術
		⑫ 胸腔穿刺・ドレナージ	
		⑬ 腹腔穿刺・ドレナージ	
		⑭ 膀胱穿刺・ドレナージ	
		⑮ 内視鏡的止血術	
		⑯ 緊急血液浄化法	
		⑰ 消化管内圧減圧治療	胃管、イレウス管
	B ショックの治療	① 循環血液量減少性ショック	
		② 心原性ショック	
		③ 血流分布異常性ショック	
		④ 閉塞性ショック	
	C 重症救急病態	① 急性呼吸不全、急性肺損傷<ALI>、急性呼吸窮迫症候群<ARDS>	
		② 急性心不全	
		③ 急性腎障害	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
		④ 急性肝不全	
		⑤ 播種性血管内凝固(DIC)	
		⑥ 多臓器不全(MOF)	
		⑦ 二次性脳障害	
	D 外傷の治療・処置	① 創傷の治療・処置	洗浄、デブリドマン、止血、縫合、創閉鎖、皮膚欠損の処置、破傷風とガス壊疽の予防
		② 捻挫・骨折・脱臼の治療・処置	整復、固定(非観血的、観血的)
		③ 頭部外傷	
		④ 顔面・頸部外傷	眼外傷、頸部刺創
		⑤ 胸部外傷	
		⑥ 腹部外傷	
		⑦ 骨盤・四肢外傷	
		⑧ 脊椎・脊髄外傷	
		⑨ 泌尿器・生殖器外傷	
		⑩ 挫滅<圧挫>症候群<crush syndrome>	
		⑪ 区画<コンパートメント>症候群	筋膜切開
		⑫ 多発外傷、爆傷	部位別治療優先順位の判断、ダメージコントロール
	E 急性中毒の治療・処置	① 胃洗浄、腸洗浄	
		② 強制利尿	
		③ 血液浄化法	
		④ 解毒・拮抗薬	
		⑤ 特殊な治療法	アルカリ化、高濃度酸素療法
	F 熱傷の治療・処置	① 全身療法	輸液の公式、感染防止
		② 重症度判定	熱傷面積の評価、熱傷指数、予後指数
		③ 局所療法	減張切開、デブリドマン、局所療法薬、早期焼痂切除、植皮
		④ 気道熱傷の治療	
		⑤ 合併症	急性腎障害、Curling潰瘍、敗血症、栄養障害
	G 環境異常の治療	① 熱中症	
		② 低体温{症}	
		③ 凍傷	
		④ 減圧症、酸素欠乏症、高山病	
		⑤ 急性放射線障害	
	H 異物・溺水・刺咬症の治療・処置	① 異物	
		② 窒息、溺水	
		③ 刺咬症	

IX 治療[約13%]

大項目	中項目	小項目	備考
	I 産科的救急治療・処置	① 母体・新生児搬送	
		② 急速遂娩	帝王切開、鉗子、吸引分娩
		③ 胎児機能不全[non-reassuring fetal status<NRFS>]	
		④ 産科ショック	
	J 新生児の救急治療・処置	① 新生児蘇生法	
		② 新生児集中治療室	
	K 乳児の救急治療・処置		
11 緩和ケア 約10%	A 全人的苦痛の緩和	① 緩和ケアの概念	
		② 全人的苦痛<トータルペイン>の種類と原因	スピリチュアルペイン、慢性疼痛
		③ 身体的苦痛	
		④ 精神的苦痛	
		⑤ 社会的苦痛	
		⑥ チームアプローチ	
		⑦ 家族ケア	
		⑧ 緩和ケアチーム	
		⑨ ホスピス、緩和ケア病棟<PCU>	
		⑩ 癒し環境	
	B 身体的苦痛の緩和	① がん性疼痛の種類と原因	
		② 疼痛のアセスメント	
		③ 疼痛緩和の薬物療法	
		④ がん疼痛治療法	WHO方式がん疼痛治療法
		⑤ がん悪液質の概念と病状把握	
		⑥ 全身倦怠感・食思<欲>不振・呼吸困難の治療とケア	
		⑦ 胸水・腹水・全身浮腫の治療とケア	
		⑧ 緩和的外科治療	
		⑨ 緩和的放射線治療	
		⑩ インターベンショナルラジオロジー<IVR>	
		⑪ 鎮静<セデーション>	
	C オピオイド<医療用麻薬>	① オピオイドの種類と効果	弱オピオイド、強オピオイド
		② タイトレーション	
		③ レスキュードーズ	
		④ オピオイドローテーション	
		⑤ 鎮痛補助薬	
		⑥ オピオイドの副作用と対策	
	D ホスピス・緩和ケア	① ホスピスケアの基準	
		② 生活の質[quality of life<QOL>]の改善・維持	quality of death<QOD>
		③ 緩和ケア病棟<PCU>	

IX 治療[約13%]

大 項 目	中 項 目	小 項 目	備 考
		④ 緩和ケアチーム	デスカンファレンス
		⑤ 在宅ホスピス・緩和ケア	
		⑥ レスパイトケア	
		⑦ 悲嘆のケア<グリーフケア>	
		⑧ 遺族ケア	
12 その他の治療 法 約5%	A 酸素療法(急性期、慢性期)	① 合併症	CO ₂ ナルコーシス
		② 在宅酸素療法	
	B 人工換気	① 持続的気道陽圧法<CPAP>	
		② 圧支持換気<PSV>	
		③ 持続的陽圧換気<CPPV>	呼気終末陽圧換気<PEEP>
		④ 同期式間欠的強制換気<SIMV>	
		⑤ 非侵襲的陽圧換気<NPPV>	
	C 呼吸理学療法	① 排痰法	
		② 呼吸訓練	
	D 物理療法	① 凍結療法	
		② 温熱療法	
		③ 電気治療	
	E 光線療法	① 新生児黄疸に対する治療	
		② PUVA療法	
	F レーザー療法		
	G 体外衝撃波結石破砕術<ESWL>		
	H 高圧酸素療法	① 合併症	
	I 電気けいれん療法		
	J 免疫療法	① 減感作療法	
		② 抗体療法	生物学的製剤
	K 生殖補助技術<ART>	① 体外受精-胚移植<IVF-ET>、顕微授精<ICSI>	
	L 精神療法	① 精神分析療法	
		② 自律訓練法	
		③ 森田療法	
		④ 行動療法	
		⑤ 認知行動療法	
		⑥ 心理教育<psychoeducation>	
		⑦ 芸術療法	
		⑧ 遊戯療法	
		⑨ 家族療法	
		⑩ 集団療法	
		⑪ カウンセリング	
	M リエゾン精神医学<精神科コンサルテーション>		